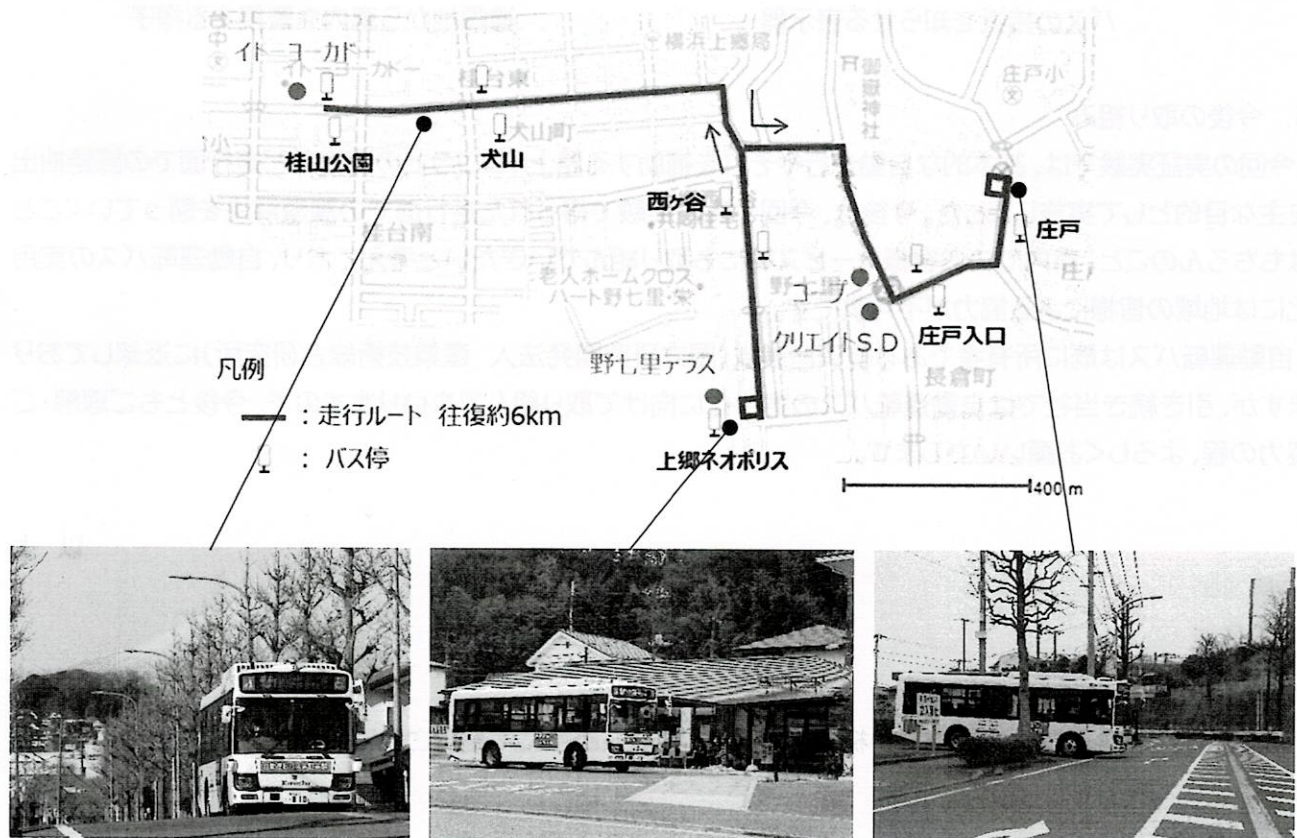


中型自動運転バスによる実証実験結果のご報告

当社は、経済産業省・国土交通省が行う「中型自動運転バスによる実証評価」の事業者に選定されたことを受け、以下のとおり自動運転バスの実証実験を行いました。実証実験期間中、地域の皆様方にはご理解・ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

1. 実施概要

事故防止、省人化などの効果が見込まれ、持続的な地域交通の維持につながると期待されている自動運転バスの実用化に向けた実証実験を2021年2月1日(月)～3月5日(金)に実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大により実証期間は緊急事態宣言中であったため、地域の方々にはご乗車いただくことができませんでしたが、走行面での検証に特化したかたちで行い、期間中は桂山公園～庄戸～上郷ネオポリス～桂山公園の約6kmの運行ルートを102便運行しました。



桂台地区周辺走行中

上郷ネオポリスバス停停車中

庄戸バス折返場発車時

2. 実証実験の結果

- 今回の実証実験では、難しい走行環境であったにも関わらず走行距離の9割以上を自動で走行しました。一方、手動での走行となった理由としては、主に運行ルートにおける路上駐停車両や工事区間の回避が挙げられます。

- ・ 信号や見通しの悪い無信号交差点には、道路上にセンサーを設置し自動運転バスに対向車の検知状況を知らせることで、安全に走行することができました。
- ・ 上之町交差点～西ヶ谷団地入口交差点間のカーブには、対向車に自動運転バスの接近を知らせる表示器を設置したことで、スムーズに通過できるよう一般車両のご協力が得られました。



バスの接近を知らせる表示器



遠隔地から車内を監視する様子

3. 今後の取り組み

今回の実証実験では、基本的な自動走行やそれを補助する路上インフラとの連携など走行面での課題抽出を主な目的として実施しました。今後は、今回の実証実験で得られた走行面での課題解決を図っていくことはもちろんのこと、車内でのお客様サービス等にも取り組んでいきたいと考えており、自動運転バスの実用化には地域の皆様による協力が不可欠です。

自動運転バスは既に所有者である経済産業省(国立研究開発法人 産業技術総合研究所)に返却しておりますが、引き続き当社では自動運転バスの実用化に向けて取り組んでまいりますので、今後ともご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

以上

(参考)

今回の取り組み内容や実証実験の様子が以下の YouTube にて紹介されておりますので、ぜひご覧ください。

栄区なう！TV+「次世代の移動手段～自動運転バス(前編)～」

<https://youtu.be/HajmbqaOR10>



栄区なう！TV+「次世代の移動手段～自動運転バス(後編)～」

<https://youtu.be/wmc0lBU9TcY>



バスグラフィック TV 【神奈中】中型自動運転バス実証実験 亀田理恵レポート！

<https://youtu.be/3Xp3VJTdPKY>

